

會	員	委		
第一回	昭和三十二年一月三十一日	午前十一時五十八分		
第二回	二月四日	午前十一時十一分		
第三回	同月十二日	午前十一時十三分		
回数	年月日	開會	休憩	散會
	遠藤柳作(二)	有賀光	豐(二)	岡田文次(六)
	森平兵衛(一)	石川三郎(六)	磯貝浩(七)	小倉正恒(八)
	光永星郎(五)	磯貝浩(七)	宇野勇作(八)	橋本辰二郎(一)
	久恒貞雄(七)	宇野勇作(八)	山田仙之助(三)	田中徳兵衛(一)
	小林嘉平治(九)	山田仙之助(三)	山本米三(六)	山本米三(六)
	風見八左衛門(七)	大藪守治(八)	金岡又左衛門(九)	金岡又左衛門(九)
	大西虎之介(二)	氏家清吉(九)	上野喜左衛門(九)	上野喜左衛門(九)
	公爵岩倉具榮(一)	侯爵佐竹義春(五)	侯爵筑波藤麿(三)	侯爵筑波藤麿(三)
	侯爵久我通顯(四)	子爵今城定政(五)	子爵立見豐丸(三)	子爵立見豐丸(三)
	子爵秋月種英(五)	子爵松平保男(八)	子爵加藤泰通(七)	子爵加藤泰通(七)
	子爵秋元春朝(二)	子爵實吉純郎(六)	子爵土岐章(四)	子爵土岐章(四)
	織田萬(二)	下村宏(三)	男爵前田勇(七)	男爵前田勇(七)
	男爵柴山昌生(三)	男爵北島貴孝(八)	男爵本多政樹(四)	男爵本多政樹(四)
	男爵沖貞男(四)	男爵足立	男爵橋元正輝(一)	男爵橋元正輝(一)

議	備	考
第四回	同月十八日	午前十一時十九分
第五回	同月二十五日	午前十一時十四分
第六回	三月四日	午前十一時二十分
第七回	同月十一日	午後一時四十五分
第八回	同月十八日	午後一時五十五分
	一昭和十二年十二月二十七日各部ニ於テ本委員ヲ選舉ス	
	一昭和十三年一月二十二日伯爵酒井忠克委員長ニ、男爵井上清純副委員長ニ當選ス	
	一同日分科ヲ決定シ分科擔當委員並兼務委員ヲ選定ス	
	一同日厚生省所管ノ部ハ第二分科ニ於テ審査スヘキ決議ヲ爲ス	
	一同日委員會及各分科會開會日時ヲ決定ス	
	一同日請願文書表第一回報告ヲ議長ニ提出ス	
	一同日二十四日各分科ニ於テ主査及副主査ヲ互選ス	
	一二月二十六日請願文書表第二回報告ヲ議長ニ提出ス	
	一二月二日請願文書表第三回報告ヲ議長ニ提出ス	
	一二月四日請願委員會特別報告第一號ヲ議長ニ提出ス	
	一二月九日請願文書表第四回報告ヲ議長ニ提出ス	
	一二月十二日請願委員會特別報告第二號ヲ議長ニ提出ス	
	一二月十六日請願文書表第五回報告ヲ議長ニ提出ス	
	一二月十八日請願委員會特別報告第三號ヲ議長ニ提出ス	
	一二月二十三日請願文書表第六回報告ヲ議長ニ提出ス	
	一二月二十五日請願委員會特別報告第四號ヲ議長ニ提出ス	

考 備		分 科 會		考 備	
一 三月二日請願文書表第七回報告ヲ議長ニ提出ス 一 同月四日請願委員會特別報告第五號ヲ議長ニ提出ス 一 同月九日請願文書表第八回報告ヲ議長ニ提出ス 一 同月十一日請願委員會特別報告第六號ヲ議長ニ提出ス 一 同月十六日請願文書表第九回報告ヲ議長ニ提出ス 一 同月十八日請願委員會特別報告第七號ヲ議長ニ提出ス 一 同月二十三日請願文書表第十回報告ヲ議長ニ提出ス		第一分科 (大藏省、農林省、商工省)		主查 男爵足立 豐 副主查 有賀 光豐 男爵北島 貴 孝 磯 貝 浩 小林嘉平治 (兼)子爵土岐 章 森 平兵衛 橋本辰二郎 山田仙之助 侯爵筑波 藤 磨 小倉 正 恒 久恒 貞 雄 大西虎之介	
第一回	昭和十三年二月十四日	午後一時五十九分	開 會	休 憩	午後三時十五分
第二回	同月二十一日	午後二時六分	開 會	散 會	午後二時四十五分

考 備		分 科 會		考 備	
一 昭和十三年一月二十二日請願委員會ニ於テ本分科擔當委員並兼務委員ヲ選定ス 一 同月二十四日男爵足立豐主查ニ、有賀光豐副主查ニ當選ス 一 二月十四日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス 一 同月二十一日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス 一 同月二十八日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス 一 三月七日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス 一 同月十四日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス		第二分科 (外務省、內務省、文部省、厚生省)		主查 子爵加藤 泰 通 副主查 男爵沖 貞 男 子爵實 吉 純 郎 下 村 宏 遠藤 柳 作 岡 田 文 次 (兼)金岡又左衛門 公爵山縣 有 道 男爵井上 清 純 宇野 勇 作	
第三回	同月二十八日	午前十時三十分	開 會	休 憩	午後零時十三分
第四回	三月七日	午後一時四十六分	開 會	散 會	午後三時五十分
第五回	同月十四日	午前十時十三分	開 會	散 會	午前十時四十四分

議	會	員	委
第二回	同月八日	午前十時八分	主查 子爵秋月種英 副主查 男爵本多政樹
第三回	同月十五日	午後一時四十三分	侯爵久我通顯 伯爵酒井忠克
第四回	同月二十二日	午前十時十二分	子爵秋元春朝
第五回	三月一日	午前十時二十一分	田中徳兵衛
第六回	同月八日	午後一時三十七分	氏家清吉
第七回	同月十五日	午後三時二十九分	
第八回	同月十七日	午後二時四十五分	
<p>一昭和十三年一月二十二日請願委員會ニ於テ本分科擔當委員並兼務委員ヲ選定ス</p> <p>一 同月二十四日子爵加藤泰通主查ニ、男爵沖貞男副主查ニ當選ス</p> <p>一 二月一日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス</p> <p>一 同月八日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス</p> <p>一 同月十五日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス</p> <p>一 同月二十二日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス</p> <p>一 三月一日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス</p> <p>一 同月八日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス</p> <p>一 同月十五日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス</p> <p>一 同月十七日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス</p>			
<p>第三分科 (内閣、司法省、遞信省、拓務省)</p>			

議	會	員	委
第一回	昭和十三年一月三十一日	午後一時四十二分	主查 子爵秋月種英 副主查 男爵本多政樹
第二回	二月七日	午前十時二十分	侯爵久我通顯 伯爵酒井忠克
第三回	同月十四日	午後一時四十五分	子爵秋元春朝
第四回	同月二十一日	午後一時四十七分	田中徳兵衛
第五回	同月二十八日	午前十時十六分	氏家清吉
第六回	三月十四日	午後一時四十八分	
<p>一昭和十三年一月二十二日請願委員會ニ於テ本分科擔當委員ヲ選定ス</p> <p>一 同月二十四日子爵秋月種英主查ニ、男爵本多政樹副主查ニ當選ス</p> <p>一 同月三十一日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス</p> <p>一 二月七日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス</p> <p>一 同月十四日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス</p> <p>一 同月二十一日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス</p> <p>一 同月二十八日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス</p> <p>一 三月十四日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス</p>			

員 委	會 議	備																																			
第四分科 (陸軍省、海軍省、鐵道省) 主查 公爵岩倉具榮 副主查 子爵立見豐丸 子爵松平保男 子爵土岐章 男爵柴山昌生 石川三郎 風間八左衛門 金岡又左衛門 (兼) 男爵橋元正輝	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>年 月 日</th> <th>開 會</th> <th>休 憩</th> <th>散 會</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一回</td> <td>昭和十三年二月一日</td> <td>午後一時三十四分</td> <td></td> <td>午後二時五十七分</td> </tr> <tr> <td>第二回</td> <td>同月八日</td> <td>午前十時八分</td> <td></td> <td>午前十二時二十九分</td> </tr> <tr> <td>第三回</td> <td>同月二十二日</td> <td>午前十時十六分</td> <td></td> <td>午後二時四十分</td> </tr> <tr> <td>第四回</td> <td>三月一日</td> <td>午前十時十四分</td> <td></td> <td>午後零時十二分</td> </tr> <tr> <td>第五回</td> <td>同月八日</td> <td>午後一時三十八分</td> <td>午後二時五分</td> <td>午後三時三十三分</td> </tr> <tr> <td>第六回</td> <td>同月十五日</td> <td>午前十時十六分</td> <td></td> <td>午前十二時二十二分</td> </tr> </tbody> </table>	回数	年 月 日	開 會	休 憩	散 會	第一回	昭和十三年二月一日	午後一時三十四分		午後二時五十七分	第二回	同月八日	午前十時八分		午前十二時二十九分	第三回	同月二十二日	午前十時十六分		午後二時四十分	第四回	三月一日	午前十時十四分		午後零時十二分	第五回	同月八日	午後一時三十八分	午後二時五分	午後三時三十三分	第六回	同月十五日	午前十時十六分		午前十二時二十二分	一昭和十三年一月二十二日請願委員會ニ於テ本分科擔當委員並兼務委員ヲ選定ス 一同月二十四日公爵岩倉具榮主查ニ、子爵立見豐丸副主查ニ當選ス 一二月一日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス
回数	年 月 日	開 會	休 憩	散 會																																	
第一回	昭和十三年二月一日	午後一時三十四分		午後二時五十七分																																	
第二回	同月八日	午前十時八分		午前十二時二十九分																																	
第三回	同月二十二日	午前十時十六分		午後二時四十分																																	
第四回	三月一日	午前十時十四分		午後零時十二分																																	
第五回	同月八日	午後一時三十八分	午後二時五分	午後三時三十三分																																	
第六回	同月十五日	午前十時十六分		午前十二時二十二分																																	

考

一同月八日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス
 一同月二十二日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス
 一三月一日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス
 一同月八日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス
 一同月十五日審査報告書ヲ主查ヨリ委員長ニ提出ス

第五 決算委員會

員	委	考
長 男爵周布兼道(九) 副 子爵高倉篤麿(三) 侯爵小村捷治(九) 伯爵山田英夫(四) 子爵三室戶敬光(六) 子爵清岡長言(七) 子爵米田國臣(四) 子爵梅園篤彦(二) 佐藤三吉(四) 出淵勝次(八) 三井清一郎(三) 柴田善三郎(一) 男爵飯田精太郎(八) 男爵奧田剛郎(六) 男爵園田武彦(六) 男爵渡邊修二(七) 男爵山根健男(九) 三浦新七(七) 土方久徵(九) 若尾璋八(五) 中村圓一郎(八) 武井覺太郎(二) 三橋彌(七) 野村茂久馬(二) 濱口儀兵衛(二) 辻村兵吉(八) 青木才次郎(一) 大和田健三郎(一)	侯爵西郷從德(三) 侯爵池田宣政(四) 伯爵後藤一藏(九) 子爵立花種忠(五) 子爵綾小路護(一) 佐藤鐵太郎(二) 白根竹介(三) 男爵松平外與磨(五) 男爵肝付兼英(六) 松本學(八) 瀧川儀作(五) 磯村豐太郎(六) 細田安兵衛(五) 三木與吉郎(七) 出光佐三(一)	

會	回數	年 月 日	開 會	休 憩	散 會
議	第一回	昭和十三年一月二十二日	午前十二時五十三分		午前十二時五十七分
	第二回	二月二十五日	午後二時十四分		午後二時四十二分
	第三回	三月十九日	午後二時一分		午後三時三十七分
備	一昭和十二年十二月二十七日各部ニ於テ本委員ヲ選舉ス				
	一昭和十三年一月二十二日男爵周布兼道委員長ニ、子爵高倉篤鷹副委員長ニ當選ス				
	一同日分科ヲ決定シ分科擔當委員並兼務委員ヲ選定ス				
	一同月二十四日各分科ニ於テ主査及副主査ヲ互選ス				
	一二月二十三日昭和十一年度歳入歳出總決算並昭和十一年度各特別會計歳入歳出決算ヲ提出ス				
一同月二十五日三井清一郎第三分科副主査ヲ辭任ス					
一同日第三分科ニ於テ副主査ノ補闕選舉ヲ行ヒ子爵米田國臣副主査ニ當選ス					
一同日本委員會ニ於テ昭和十一年度歳入歳出總決算並昭和十一年度各特別會計歳入歳出決算ノ審査方針ヲ決定シ其ノ審査ヲ各分科ニ付託シ三月十八日迄ニ報告スヘキ旨ヲ議決ス					
一同日未タ國有財産ノ提出ナキモ其ノ審査方針ヲ決定シ之カ審査ハ各分科ヨリ各二名ノ委員ヲ選定シ之ニ正副委員長ヲ加ヘタル小委員ニ豫メ付託シ三月十八日迄ニ報告スヘキ旨ヲ議決ス					
一同日第一分科、第二分科、第三分科、第五分科ニ於テ、同月二十六日第四分科ニ於テ小委員ヲ互選シ其ノ結果ヲ委員長ニ報告ス					
各分科小委員ノ氏名左ノ如シ					
第一分科	侯爵	西郷從德	子爵	梅園篤彦	
第二分科	出淵勝次		瀧川儀作		
第三分科	三井清一郎		男爵	園田武彦	
第四分科	武井覺太郎		三橋彌		
第五分科	侯爵	池田宣政	出光佐三		

考

一三月一日昭和十一年度國有財産増減總計算書ヲ提出ス昭和十一年度國有財産増減總計算書ハ二月二十五日ノ決議ニ基キ直ニ小委員ニ付託ス

一同月二日小委員會ニ於テ三井清一郎委員長ニ當選ス

一同月七日第一分科會、第三分科會ニ於テ假決議ヲ爲ス

一同月八日第四分科會、第五分科會ニ於テ假決議ヲ爲ス

一同月九日第二分科會ニ於テ假決議ヲ爲ス

一同月十二日昭和十二年三月三十一日現在國有財産現在額總計算書ヲ提出ス

昭和十二年三月三十一日現在國有財産現在額總計算書ハ二月二十五日ノ決議ニ基キ直ニ小委員ニ付託ス

一同月十五日副委員長、正副主査及小委員會委員長ハ審査期限變更ノ協議ヲ爲シ引續キ各分科會ノ假決議ニ基キ打合ヲ爲ス

一同月十六日各分科會ニ於テ昭和十一年度歳入歳出總決算並昭和十一年度各特別會計歳入歳出決算中各付託ノ部ヲ議決シ直ニ其ノ旨各主査ヨリ委員長ニ報告ス

一同日小委員會ニ於テ昭和十一年度國有財産増減總計算書、昭和十二年三月三十一日現在國有財産現在額總計算書ヲ議決シ直ニ其ノ旨小委員會委員長ヨリ委員長ニ報告ス

一同月十九日日本委員會ニ於テ昭和十一年度歳入歳出總決算並昭和十一年度各特別會計歳入歳出決算、昭和十一年度國有財産増減總計算書、昭和十二年三月三十一日現在國有財産現在額總計算書ヲ議決シ直ニ其ノ旨委員長ヨリ議長ニ報告ス

分 科 會

第一分科 (歳入、大藏省)

考	備	議	會	員	委
		第一回	昭和十三年三月四日	午前 十時 十八分	午後 零時 六分
		第二回	同月七日	午後 一時 三十七分	午後 四時 一分
		第三回	同月十六日	午後 一時 二十分	午後 一時 五十四分
	一 昭和十三年一月二十二日決算委員會ニ於テ本分科擔當委員ヲ選定ス 一 同月二十四日伯爵後藤一藏主査ニ、男爵飯田精太郎副主査ニ當選ス 一 二月二十五日決算委員會ニ於テ昭和十一年度歳入歳出總決算並昭和十一年度各特別會計歳入歳出決算中歳入及大藏省所管ノ部ヲ審査ヲ付託セラル 一 同日日本分科會ニ於テ決算委員會ノ決議ニ基キ侯爵西郷從徳、子爵梅園篤彦ヲ小委員ニ選定ス 一 三月七日日本分科會ニ於テ假決議ヲ爲ス 一 同月十六日日本分科會ニ於テ昭和十一年度歳入歳出總決算並昭和十一年度各特別會計歳入歳出決算中歳入及大藏省所管ノ部ヲ議決シ直ニ其ノ旨主査ヨリ委員長ニ報告ス	主査 伯爵後藤一藏 副主査 男爵飯田精太郎 侯爵西郷從徳 子爵梅園篤彦 子爵綾小路護 白根竹介 土方久徵 若尾璋八 大和田健三郎			
第二分科 (外務省、内務省、司法省)					

考	備	議	會	員	委
		第一回	昭和十三年三月二日	午後 一時 四十五分	午後 二時 十六分
		第二回	同月七日	午後 一時 三十九分	午後 二時 四十一分
		第三回	同月九日	午前 十時 十四分	午前 十時 五十五分
		第四回	同月十六日	午前 十時 二十一分	午前 十時 三十八分
	一 昭和十三年一月二十二日決算委員會ニ於テ本分科擔當委員並兼務委員ヲ選定ス 一 同月二十四日松本學主査ニ、男爵奥田剛郎副主査ニ當選ス 一 二月二十五日決算委員會ニ於テ昭和十一年度歳入歳出總決算並昭和十一年度各特別會計歳入歳出決算中外務省所管、内務省所管及司法省所管ノ部ヲ審査ヲ付託セラル 一 同日日本分科會ニ於テ決算委員會ノ決議ニ基キ出淵勝次、瀧川儀作ヲ小委員ニ選定ス 一 三月九日日本分科會ニ於テ假決議ヲ爲ス 一 同月十六日日本分科會ニ於テ昭和十一年度歳入歳出總決算並昭和十一年度各特別會計歳入歳出決算中外務省所管、内務省所管及司法省所管ノ部ヲ議決シ直ニ其ノ旨主査ヨリ委員長ニ報告ス	主査 松本學 副主査 男爵奥田剛郎 侯爵小村捷治 子爵高倉篤麿 出淵勝次 男爵周布兼道 瀧川儀作 濱口儀兵衛 青木才次郎 (兼) 武井覺太郎			
第三分科 (陸軍省、海軍省)					

第七十三回 諸表(常任委員會表)

委員	會議	備考																				
主查 男爵 渡邊 修 二×副主查 子爵 米田 國臣 △副主查 三井清一郎 侯爵 四條 隆愛 伯爵 山田 英夫 佐藤 鐵太郎 男爵 園田 武彥 磯村 豐太郎 (兼) 大和田健三郎	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>年月日</th> <th>開會</th> <th>休憩</th> <th>散會</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一回</td> <td>昭和十三年三月二日</td> <td>午後一時三十七分</td> <td></td> <td>午後三時十分</td> </tr> <tr> <td>第二回</td> <td>同月七日</td> <td>午後一時三十七分</td> <td></td> <td>午後三時二十四分</td> </tr> <tr> <td>第三回</td> <td>同月十六日</td> <td>午前十一時十四分</td> <td></td> <td>午前十一時三十一分</td> </tr> </tbody> </table>	回数	年月日	開會	休憩	散會	第一回	昭和十三年三月二日	午後一時三十七分		午後三時十分	第二回	同月七日	午後一時三十七分		午後三時二十四分	第三回	同月十六日	午前十一時十四分		午前十一時三十一分	<p>一 昭和十三年一月二十二日決算委員會ニ於テ本分科擔當委員並兼務委員ヲ選定ス</p> <p>一 同月二十四日男爵渡邊修ニ主査ニ、三井清一郎副主査ニ當選ス</p> <p>一 二月二十五日三井清一郎副主査ヲ辭任ス</p> <p>一 同日副主査ノ補闕選舉ヲ行ヒ子爵米田國臣副主査ニ當選ス</p> <p>一 同日決算委員會ニ於テ昭和十一年度歳入歳出總決算並昭和十一年度各特別會計歳入歳出決算中陸軍省所管及海軍省所管ノ部ノ審査ヲ付託セラル</p> <p>一 同日日本分科會ニ於テ決算委員會ノ決議ニ基キ三井清一郎、男爵園田武彥ヲ小委員ニ選定ス</p> <p>一 三月七日日本分科會ニ於テ假決議ヲ爲ス</p> <p>一 同月十六日日本分科會ニ於テ昭和十一年度歳入歳出總決算並昭和十一年度各特別會計歳入歳出決算中陸軍省所管及海軍省所管ノ部ヲ議決シ直ニ其ノ旨主査ヨリ委員長ニ報告ス</p>
回数	年月日	開會	休憩	散會																		
第一回	昭和十三年三月二日	午後一時三十七分		午後三時十分																		
第二回	同月七日	午後一時三十七分		午後三時二十四分																		
第三回	同月十六日	午前十一時十四分		午前十一時三十一分																		

第四分科 (文部省、農林省、商工省、遞信省)

委員	會議	備考																				
主查 子爵 立花 種忠 副主查 男爵 肝付 兼英 子爵 三室 戶敬光 三 浦 新七 三 橋 彌 細田 安兵衛 侯爵 德川 義親 武井 覺太郎 三木 與吉郎	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>年月日</th> <th>開會</th> <th>休憩</th> <th>散會</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一回</td> <td>昭和十三年三月四日</td> <td>午前十一時二十四分</td> <td></td> <td>午前十一時十六分</td> </tr> <tr> <td>第二回</td> <td>同月八日</td> <td>午後一時四十五分</td> <td></td> <td>午後二時三十分</td> </tr> <tr> <td>第三回</td> <td>同月十六日</td> <td>午後一時三十九分</td> <td></td> <td>午後一時四十八分</td> </tr> </tbody> </table>	回数	年月日	開會	休憩	散會	第一回	昭和十三年三月四日	午前十一時二十四分		午前十一時十六分	第二回	同月八日	午後一時四十五分		午後二時三十分	第三回	同月十六日	午後一時三十九分		午後一時四十八分	<p>一 昭和十三年一月二十二日決算委員會ニ於テ本分科擔當委員ヲ選定ス</p> <p>一 同月二十四日子爵立花種忠主査ニ、男爵肝付兼英副主査ニ當選ス</p> <p>一 二月二十五日決算委員會ニ於テ昭和十一年度歳入歳出總決算並昭和十一年度各特別會計歳入歳出決算中文部省所管、農林省所管、商工省所管及遞信省所管ノ部ノ審査ヲ付託セラル</p> <p>一 同月二十六日日本分科會ニ於テ決算委員會ノ決議ニ基キ武井覺太郎、三橋彌ヲ小委員ニ選定ス</p> <p>一 三月八日日本分科會ニ於テ假決議ヲ爲ス</p> <p>一 同月十六日日本分科會ニ於テ昭和十一年度歳入歳出總決算並昭和十一年度各特別會計歳入歳出決算中文部省所管、農林省所管、商工省所管及遞信省所管ノ部ヲ議決シ直ニ其ノ旨主査ヨリ委員長ニ報告ス</p>
回数	年月日	開會	休憩	散會																		
第一回	昭和十三年三月四日	午前十一時二十四分		午前十一時十六分																		
第二回	同月八日	午後一時四十五分		午後二時三十分																		
第三回	同月十六日	午後一時三十九分		午後一時四十八分																		

第五分科 (鐵道省、拓務省)

第七十三回 諸表(常任委員會表)

考	備	議	會	員	委	
			回数	年月日	開會	
		第一回	昭和十三年三月二日	午後一時四十五分	休會	
		第二回	同月三日	午前十時十七分	散會	
		第三回	同月五日	午前十時十八分		
		第四回	同月八日	午後一時四十一分		
		第五回	同月十六日	午後一時四十六分		
	一 昭和十三年一月二十二日決算委員會ニ於テ本分科擔當委員並兼務委員ヲ選定ス 一 同月二十四日子爵清岡長言主査ニ、男爵松平外與磨副主査ニ當選ス 一 二月二十五日決算委員會ニ於テ昭和十一年度歳入歳出總決算並昭和十一年度各特別會計歳入歳出決算中鐵道省所管及 管及拓務省所管ノ部ノ審査ヲ付託セラル 一 同日本分科會ニ於テ決算委員會ノ決議ニ基キ侯爵池田宣政、辻兵吉ヲ小委員ニ選定ス 一 三月八日本分科會ニ於テ假決議ヲ爲ス 一 同月十六日本分科會ニ於テ昭和十一年度歳入歳出總決算並昭和十一年度各特別會計歳入歳出決算中鐵道省所管及 拓務省所管ノ部ヲ議決シ直ニ其ノ旨主査ヨリ委員長ニ報告ス					
					主査 子爵清岡長言 副主査 男爵松平外與磨 柴田善三郎 男爵山根健男 野村茂久馬 辻兵吉 (兼) 出淵勝次	侯爵池田宣政 中村圓一郎 出光佐三

請願書一覽表

關官 係名	請願 件名	請願書 號數	請願 人數	委員會ノ經過 未查 不採擇 採擇	本會議ノ經過 可決 否決 未決
皇宮造營ニ關スル件		一〇一	一一	一	
戰公病死者遺族並傷痍軍人優遇ニ關スル件		一〇二	三三	一	
戰公病死者遺族並傷痍軍人優遇ニ關スル件		一〇三	四〇	一	
古事記正解ノ研究機關設置ノ件		一〇四	一一	一	
戰公病死者遺族並傷痍軍人優遇ニ關スル件		一〇六	三三	一	
戰公病死者遺族並傷痍軍人優遇ニ關スル件		一一二	一四	一	
聖恩奉答報告祈願大祭施行ノ件		一一九	六一	一	
戰公病死者遺族並傷痍軍人優遇ニ關スル件		一二六	二八	一	
戰役殊勳者優遇ニ關スル件		一三一	一三六	一	
金鵝勳章年金改正ニ關スル件		一三二	一三四	一	
東北、北海道ノ救濟施設確立ニ關スル件		一三八	五四三	一	
國號ノ稱呼確定ニ關スル件		一四二	一六	一	

第七十三回 諸表(請願書一覽表)

外		閣									
計	天照祭制定ノ件	四八	一七〇	一							
	戰役殊勳者優遇ニ關スル件	五五	一五五	一							
	刑部日羅公贈位申請ノ件	七六	三六	一							
	戰役殊勳者優遇ニ關スル件	八二	八〇	一							
	戰役殊勳者優遇ニ關スル件	八六	三九	一							
	戰役殊勳者優遇ニ關スル件	一〇〇	六六	一							
	恩給法附則改正ノ件	一〇八	一	一							
	敬神崇祖ニ關スル件	一〇九	三	一							
	元北海道廳森林監守ノ恩給ニ關スル件	一二七	一六	一							
	山口縣岩隈山ヲ神陵地ニ指定ノ件	一三三	二	一							
	皇室經費増額ニ關スル件	一五七	一	一							
雪害對策ニ關スル件	一六八	八四	一								
皇室用御饌料田設置ニ關スル件	一六九	一	一								
雪害防止施設費ニ對シ國庫補助ノ件	一七五	一〇	一								
農村負債支拂猶豫令制定ノ件	一八五	一、一九一	一								
計	二七	四、三六五	二七								
中華民國及滿洲國ニ於ケル澱粉輸入關稅ニ關スル件	一〇六	一	一								

内		省務									
計	海外同胞物故者慰靈堂建立助成金下付ノ件	一五一	一八								
	廣島港修築ニ關スル件	一一	二								
	大間港修築速成ノ件	一四	一三								
	北海道古宇郡泊村字澁井ニ船入潤築設ノ件	二二	二九								
	市制中改正ノ件	二四	三六								
	國道五號線中、山形縣最上郡内路線ノ改修促進ニ關スル件	三四	四、一七七								
	縣社岩隈八幡宮昇格ノ件	三七	一								
	神饌米獻納ニ關スル件	四二	一								
	靜岡縣牛淵川上流改修ニ關スル件	四四	二二								
	町村制第九條改正ノ件	四六	一								
	土岐頼兼、多治見國長二公ノ神社創立ノ件	七〇	一三								
北海道岩内港修築年次線上ニ關スル件	七二	一									
二十五歳未満者飲酒禁止法制定ノ件	七四	二四六									
鳥取縣天神川改修工事線上施行ノ件	八四	二〇									
鳥取縣千代川改修區域擴張ノ件	八五	八									
北海道上川郡名寄町ニ支廳設置ノ件	九〇	一									
計	二	一九									
計	二	二									

第七十三回 諸表(請願書一覽表)

第七十三回 諸表(請願書一覽表)

部		省		農	
學校看護婦令制定ノ件	一〇七				
神武天皇御聖蹟顯彰ニ關スル件	一二五				
北海道空知郡岩見澤町ニ高等農林學校設置ノ件	一二八				
東京高等商船學校別科第一部生徒ニ給費制度制定ノ件	一四三				
岡山縣兒島商船學校ヲ官立ト爲スノ件	一四六				
青森縣西津輕郡鯨ヶ澤町ニ國立氣象觀測所設置ノ件	一五三				
私立十二大學ノ國庫補助ニ關スル件	一五六				
北支、中支へ優良教員派遣ニ關スル件	一六二				
私立大學教職員優遇ニ關スル件	一六四				
私立大學國庫補助法制定ノ件	一六五				
北海道十勝國ニ高等農林學校設置ノ件	二〇四				
教科書中新田義貞公一族ノ事蹟増補ノ件	二一一				
計	二二三	二七、八六六	二	一五	一五
利根水源涵養禁伐保安林設定ノ件	四五				
水産食糧資源ノ確保培養ニ關スル件	五八				
水産物ノ利用増進ニ關スル件	五九				
水産物ノ輸出振興ニ關スル件	六〇				

部		省		林	
漁村金融體系ノ確立ニ關スル件	六二				
漁村施設ノ擴充ニ關スル件	六三				
水産會ノ活動促進ニ關スル件	六四				
水産行政機構ノ擴充ニ關スル件	六五				
造林國策樹立實施ニ關スル件	九二				
災害防止林業施設計畫樹立ニ關スル件	九三				
林道網計畫樹立實施ニ關スル件	九五				
澱粉ノ輸出促進ニ關スル件	一〇五				
千葉縣爾特約取引ノ認可方針改訂ニ關スル件	一一一				
魚附林ノ造成並改良計畫樹立實施ノ件	一四八				
鬼怒川流域ニ灌溉用貯水池設置ノ件	一五二				
鯨ヶ澤漁港修築ニ關スル件	一五四				
三本繩複式俵裝米買上ニ關スル件	一八六				
三本繩複式俵裝米買上ニ關スル件	一九四				
三本繩複式俵裝米買上ニ關スル件	一九八				
福島縣雙葉郡川内村國有林拂下ニ關スル件	二〇八				
農地調整法制定反對ノ件	二一四				

第七十三回 諸表(請願書一覽表)

省 信 遞		省 工 商																					
計	五	石川縣黑島郵便局ニ集配事務開始ノ件	二〇九	二	三〇	一	二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三		
		北海道空知支廳管内ニ國立飛行場設置ノ件	一三〇	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
		石川縣上熊野郵便局ニ集配事務開始ノ件	九九	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
		海難防止映畫作製ノ件	八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
		碓泊商船ノ國旗掲揚ニ關スル規則制定ノ件	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
		計	九	三、一六三	七	三、一六三	七	三、一六三	七	三、一六三	七	三、一六三	七	三、一六三	七	三、一六三	七	三、一六三	七	三、一六三	七	三、一六三	七
		製造用石炭統制配給ニ關スル件	三九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		北海道上川郡名寄町ニバルブ工場設置ノ件	八八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		地方食品卸賣市場法制定ノ件	一二九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		特殊産業會社設立ニ關スル法律制定ノ件	一三九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
必需物資貯藏ニ關スル法律制定ノ件	一四〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
產業綜合ニ關スル法律制定ノ件	一四一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
北海道常呂郡留邊藥町ニ人絹バルブ工場設置ノ件	一七二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
北海道常呂郡置戸村ニバルブ工場設置ノ件	一七三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
北海道紋別郡遠輕町ニ人絹バルブ工場設置ノ件	一九三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
計	六四	六四	六	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五		

鐵

瀨棚線瀨棚、岩内線岩内ノ兩驛間鐵道敷設ノ件	一五	一〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
豫定線三明、能登三井間鐵道速成ノ件	一六	一八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
能登鐵道買收並豫定線三明、能登三井間鐵道速成ノ件	一七	二四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
横莊鐵道買收ニ關スル件	一八	二九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
吳線安藝阿賀、藝備線志和口ノ兩驛間鐵道敷設ノ件	二〇	一九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
姫新線播磨新宮、若櫻線若櫻ノ兩驛間鐵道敷設ノ件	二一	四二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
久留里線上總龜山、房總東線安房天津ノ兩驛間鐵道敷設ノ件	二三	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
姫新線播磨新宮、若櫻線若櫻ノ兩驛間鐵道敷設ノ件	二七	四一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
豫定線佐用、智頭間鐵道速成ノ件	二八	五一三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
根室本線新得、幌内線幾春別ノ兩驛間鐵道敷設ノ件	五〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
室蘭本線豐浦、定山溪鐵道定山溪ノ兩驛間鐵道敷設ノ件	五二	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
幌内線幾春別、唐松ノ兩驛間ニ停車場設置ノ件	五三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
島原、口之津、雲仙ノ三鐵道買收ノ件	五六	二八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
水産物運賃ノ低減ニ關スル件	六一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
長門鐵道買收並西市町ヨリ山陰本線油谷灣又ハ仙崎港ニ至ル鐵道敷設ノ件	六六	四一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
根室本線芽室驛ニ跨線橋架設ノ件	六八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
東北本線岩沼、増田ノ兩驛間ニ停車場設置ノ件	六九	四〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	四〇九	四〇九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

第七十三回 諸表(請願書一覽表)

道		件数	延べ長さ	トン	トン	トン	トン	トン	トン
豫定線	札幌、増毛間鐵道速成ノ件	七一	五三六						
久留里線	上總龜山、房總東線安房鴨川ノ兩驛間鐵道敷設ノ件	七七	一〇						
伯備線	生山、上石見ノ兩驛間ニ停車場設置ノ件	七八	五						
奥羽本線	湯澤驛ヨリ矢島線矢島ニ至ル鐵道敷設ノ件	七九	三、四四四						
未成線	鐵道南谷線及南勝線一部速成ニ關スル件	八三	六						
石卷線	石卷驛ヨリ氣仙沼線志津川ニ至ル鐵道敷設ノ件	八七	二二						
山陽本線	倉敷驛ヨリ岡山縣下津井港ニ至ル鐵道敷設ノ件	一〇二	六						
豫定線	日田、守實間鐵道速成ノ件	一〇三	二二						
小樽港鐵道	省埋立地内ニ漁船揚場設置ノ件	一一二	一〇八						
日高線	様似、廣尾線廣尾ノ兩驛間鐵道敷設ノ件	一一五	二						
壽都鐵道	買収ノ件	一一八	一一九						
入戸線	入戸、東北本線沼宮内ノ兩驛間鐵道敷設ノ件	一二九	一八						
東北本線	尻内、花輪線毛馬内ノ兩驛間鐵道敷設ノ件	一二〇	一九						
左澤線	羽前高松、羽越本線鶴岡ノ兩驛間鐵道敷設ノ件	一二二	二九						
未成線	鐵道只見線速成ニ關スル件	一二四	四						
札沼線	石狩當別、留萌本線増毛ノ兩驛間鐵道敷設ノ件	一三四	三						
紀勢東線	始發驛ニ關スル件	一三七	一						

省		件数	延べ長さ	トン	トン	トン	トン	トン	トン
山陽本線	岩國、山陰本線萩ノ兩驛間鐵道敷設ノ件	一三八	三二						
横濱線	列車増發並黒澤尻驛ニ急行列車停車ノ件	一四九	一六五						
中央本線	木曾福島、高山本線久々野兩驛間ヲ鐵道豫定線ニ編入ノ件	一五五	六九						
江差線	江差、瀬棚線瀬棚ノ兩驛間鐵道敷設ノ件	一六〇	一一						
未成線	鐵道坂本線並豫定線坂本、新宮間速成ノ件	一六三	二八						
豫定線	釜石、盛岡鐵道速成ノ件	一六六	五八四						
澱粉鐵道	運賃引下ニ關スル件	一七一	二						
豫定線	中津川、下呂間鐵道速成ノ件	一八二	七						
總武本線	千葉、銚子ノ兩驛間電化促進ノ件	一八七	一五						
未成線	鐵道邊富内線速成並分岐點ヲ清水驛ニ變更ノ件	一九二	一						
豫定線	松山附近、佐川間鐵道速成ノ件	一九六	七一						
釜石線	釜石、羽越本線羽後本莊ノ兩驛間鐵道整備ニ關スル件	二〇二	八〇七						
豫定線	松山附近、佐川間鐵道速成ノ件	二二三	五						
北陸本線	花園信號場ヲ停車場ニ變更ノ件	二二五	一二						
計		四八	八、一八一						
移民國策	ニ關スル件	一八四	五九						
計		一	五九						

第七十三回 諸表(請願書一覽表)

省		生		厚	
助産師法制定ノ件	一	五	二、四二九	一	一
産婆法制定ノ件	一〇	五二三	一	一	一
温泉國策ニ關スル件	一三	八一	一	一	一
東京府西多摩郡小河内村救濟ニ關スル件	五四	三三九	一	一	一
鍼灸術ニ關スル法律制定ノ件	二二三	一	一	一	一
産婆法制定ノ件	一四七	二七、三八七	一	一	一
治療師法制定ニ關スル件	一九七	一、七九八	一	一	一
小山式血液循環療法業者ノ開業ニ關スル件	一九九	一八八	一	一	一
船員保險法制定ニ關スル件	二〇五	二	一	一	一
花柳病豫防ニ關スル件	二二〇	一	一	一	一
大雪山國立公園ノ施設促進ノ件	二二二	四	一	一	一
計	一一	三三、六七三	九	六	八二
合計	二一五	八五、四四四	一二八	六	八一

請願書關係地方別表

關係地方名	件數	請願人數	委員會ノ經過	本會議ノ經過
北海道	三七	一、五四四	二六	九
東京都	三	四二六	一	二
大阪府	四	三八	三	一
長崎縣	一	二八	一	一
新潟縣	一	二、八四	一	一
埼玉縣	一	一三八	一	一
群馬縣	一	六一	一	一
千葉縣	四	三七	三	一
茨城縣	二	二九	二	一
栃木縣	一	九	一	一
奈良縣	二	六二七	一	二
合計	一一	一、五五九	一一	一一

第七十三回 諸表（請願書關係地方別表）

和歌山	大阪府	奈良縣	和歌山縣	神戶市	京都府	大阪府	和歌山縣	奈良縣	和歌山縣	奈良縣	和歌山縣	奈良縣	和歌山縣	奈良縣	和歌山縣	奈良縣	和歌山縣	奈良縣
一	一	二	一	九	七〇	一	二	二	四	八	二	一	一	一	一	一	一	一
二	二	三	一	四	六	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四

請願書關係地方別表

第七十三回 諸表（請願書關係地方別表）

山口縣	廣島縣	岡山縣	鳥取縣	富山縣	石川県	秋田縣	山形縣	青森縣	岩手縣	福島縣	宮城県	岐阜縣	靜岡縣	愛知縣	三重縣
四	二	三	三	一	六	二	二	三	四	二	二	二	二	一	一
七六	三一	八	三三	一	六一	四、六七三	四、二〇六	一五	二、七八八	二四	六三	三三	五三	一	六一
二	二	二	二	二	一	一	二	二	四	一	二	一	一	一	一
二	二	一	二	一	四	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一
二	二	一	二	一	四	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一

請願書關係地方別表

請願書紹介議員別表

議員種別	議員數	紹介件數		請願人數	
		件數	總數ニ對スル割合	人數	總數ニ對スル割合
皇族議員	一七				
公侯爵議員	五三	六	〇・三	一、七五五	〇・二
伯子男爵議員	一五〇	五二	・二四	一一、四八〇	・二四
勅選議員	一二五	二九	・二三	六三、五〇一	・七四
帝國學士院會員議員	四				
多額納稅者議員	六六	一二八	・六〇	八、七〇八	・二〇
計	四一五	二一五	一・〇〇	八五、四四四	一・〇〇
備考	議員一人ノ平均紹介件數及同平均請願人數ハ皇族、公侯爵議員ニ付テハ會期中最多ノ時ノ員數ニ依リ又互選及勅選ノ議員ニ付テハ其ノ定數ニ依ル				

自第七十三回議會至第七十一回議會 請願書受領件數比較表

議會	會期	請願書受領總件數	同上一日平均數
第一回	九九日	一〇四八	一〇・六
第二回	三〇	一二一七	四〇・六
第三回	四〇	六一七	一五・五
第四回	九二	三、〇七〇	三三・四
第五回	三三	二、六四六	八〇・二
第六回	一九	四二〇	二二・二
第七回	四	五九	二・三
第八回	九〇	三三一	三・七
第九回	九二	九五六	一〇・四
第十回	九〇	六六三	七・四

第十一回	九〇	六二八	九〇
第十二回	二二	一六六	七二
第十三回	九七	六七〇	六九
第十四回	九四	五二六	五六
第十五回	九〇	一〇六五	二一八
第十六回	九〇	二八七	八三二
第十七回	二〇	一〇六一	三三二
第十八回	二四	二三六	一五七
第十九回	三二	二二一	四〇一
第二十回	一〇	三七	一三七
第二十一回	九〇	一九八	二二二
第二十二回	九〇	七六一	八五
第二十三回	九〇	三七五	四二

第二十四回	九〇	三八八	四三
第二十五回	九〇	三六四	四〇
第二十六回	九〇	四〇八	四五三
第二十七回	九〇	一九七三	一〇八
第二十八回	九〇	一九五四	一〇六
第二十九回	九三	二五二	一七
第三十回	九〇	二二五	二四
第三十一回	九〇	一〇八〇	一一〇
第三十二回	九三	八三	一
第三十三回	九七	八七	一〇
第三十四回	二六	二二三	一五
第三十五回	一九	二五八	一三六
第三十六回	二二	一八三九	四〇〇

第七十三回 諸表(請願書受領件數比較表)

第三十七回	九〇	一六八六	四八七
第三十八回	三〇	三七〇	二二三
第三十九回	二二	二二三	一〇五
第四十回	九〇	八一四	九〇
第四十一回	九〇	八七三	九七
第四十二回	六三	一九二七	一五〇
第四十三回	二八	二九〇	一〇四
第四十四回	九〇	二五六五	二九〇
第四十五回	九〇	一五四七	一七〇
第四十六回	九〇	一三三四	一五〇
第四十七回	一三	四〇八七	四五五
第四十八回	三六	三二六	四七
第四十九回	二二	二二二	一〇五

第七十三回 諸表(請願書受領件數比較表)

第五十回	九五	九六二	一〇一
第五十一回	九〇	八九三	九九
第五十二回	九〇	五八五	六五
第五十三回	五	一	二
第五十四回	二七	一〇五	三九
第五十五回	一四	六五	四六
第五十六回	九〇	五九九	六七
第五十七回	二七	六	二
第五十八回	二二	一八五	八八
第五十九回	九二	四九四	五四
第六十回	二七	一一	五
第六十一回	五	八	一六
第六十二回	一四	二二八	九一

第七十三回 諸表 (請願書受領件數比較表)

第六十三回	第六十四回	第六十五回	第六十六回	第六十七回	第六十八回	第六十九回	第七十回	第七十一回	第七十二回	第七十三回
一三	九〇	九〇	一二	九〇	二七	二三	九六	一四	五	九一
八九	三五四	六一四	二二	五四二	三九	一四一	四九七	六五	四	二一五
六八	三九	六八	一八	六〇	一四	六一	五二	四六	八	二四

自第一回至第七十三回 議員出席比例一覽表

議 會	開院式日ヨリ 會期終了日ニ 至ルマテノ議 員總數	開院式日 及開會日 數	同上平均一 日ノ議員出 席數	議員總數 ニ對スル 議員出席 數ノ割合	出席議員ノ 最モ多キ日	出席議員最 モ多キ日ノ 事項概要	出席議員最 モ少キ日	出席議員ノ 最モ少キ日ノ 事項概要
第一回	二百四十五人	四十八日	百四十一人弱	五割七分弱	明治二十三年 二月四日 二百三人	辯護士法案	明治二十四年 二月五日 百人	戶籍法案
第二回	二百四十九人	二十二日	百六十一人強	六割二分弱	二十四年十一月 二十六日 二百二人	開院式	二十四年十二月 十七日 二百三十三人	地震取調局設 置等ノ建議案 外四件
第三回	二百六十二人	二十七日	百八十八人強	六割八分弱	二十五年六月 十三日 二百三人	鐵道敷設法案 外五件	二十五年六月 一日 百三十四人	砂礫採取法案 外十件
第四回	二百七十二人	四十二日	百六十二人強	五割九分強	二十六年二月 二十五日 百九十七人	豫定鐵道線路 中云々法律案 外八件	二十六年一月 十八日 百三十八人	集會政社法案 外三件
第五回	二百七十七人	十一日	百七十五人強	六割三分強	二十六年十二月 十一日 百八十八人	狩獵法案外十 七件	二十六年十二月 七日 百五十八人	司法官試補實 地修習期限ニ 關スル法律案 外七件
第六回	二百九十二人	十七日	百九十三人弱	六割六分強	二十七年五月 三十一日 二百九人	華族令中追加 ニ關シ御諮詢 ノ件外六件	二十七年五月 十五日 百七十七人	開院式
第七回	二百九十三人	三日	二百二十四人	七割六分強	二十七年十月 三十一日 二百三十一人	臨時軍費豫 算案外十八件	二十七年十月 十八日 二百一十一人	開院式 勅語奉答ノ件 外四件

第七十三回 諸表 (議員出席比例一覽表)

第十六回	第十五回	第十四回	第十三回	第十二回	第十一回	第十回	第九回	第八回
三百二十六人 三百二十七人 三百二十七人	三百二十六人 三百二十七人 三百二十七人	三百二十三 三百二十四人 三百二十四人	三百二十三 三百二十六人 三百二十六人	三百二十五人 三百二十七人 三百二十七人	三百三十一人 三百三十一人 三百三十一人	二百九十九人 三百一人 三百一人	二百九十三人 二百九十九人 二百九十九人	二百九十一人 二百九十二人 二百九十二人
二十六日	十九日	三十三日	四十五日	十七日	二日	二十七日	四十六日	四十二日
百九十五人弱	二百一十一人弱	百九十九人強	百八十八人強	二百五人弱	二百十人弱	百五十八人弱	百五十人弱	百五十七人強
六割弱	六割五分弱	六割一分強	五割八分弱	六割三分弱	六割三分強	五割三分弱	五割一分弱	五割四分弱
三十五年三月 八日 二百二十九人	三十四年三月 十四日 二百五十人	三十二年二月 十七日 二百三十五人	三十一年十二月 二十三日 二百三十二人	三十一年六月 十日 二百三十九人	三十年十二月 二十五日 二百一十一人	二十九年十二月 二十六日 百九十九人	二十九年二月 二十五日 二百六人	二十八年二月 十三日 二百八人
輸入原料砂糖 稅法外二 十四件	增稅案對 ル勅語奉 答ノ件 外十二件	產業組合法 案外五 件	田畑地價 修正 法律案外 十件	民法中修 正案 外十九 件	全院委員 長選 舉外二 件	法典ノ施 行延 期ニ關 スル法 律案外 七件	營業滿期 國立 銀行處分 法案 外三十一 件	國立銀行 條例 改正法律 案 外五 件
三十五年三月 十日 百五十九人	三十四年二月 四日 百六十四人	三十三年一月 二十三日 百五十二人	三十二年一月 十六日 百五十五人	三十一年五月 三十一日 百八十八人	三十年十二月 二十四日 二百八十八人	三十年二月 十日 百一十五人	二十九年三月 十一日 百一十二人	二十八年三月 十二日 百一十七人
豫算追加案 審判ヲ定 ムルノ 件外六 件	明治二十 九年 法律第四 號中 改正法律 案外 二件	豫算追加 案審 判限ヲ定 ムルノ 件外十六 件	臺灣銀行 補助 法案外 二十一 件	國籍法案 外十 八件	開院式	市制町制 等 ニ關 スル法 律 案外 十二 件	害蟲驅除 豫防 法案外 十一 件	府縣制改 正法 律案外 三十三 件

第十七回	第十八回	第十九回	第二十回	第二十一回	第二十二回	第二十三回	第二十四回	第二十五回
三百二十四人 三百二十五人 三百二十五人	三百二十四人 三百二十四人 三百二十四人	三百三十一人 三百三十一人 三百三十一人	三百三十一人 三百三十一人 三百三十一人	三百六十四人 三百六十四人 三百六十四人	三百五十九人 三百六十四人 三百六十四人	三百六十三人 三百六十五人 三百六十五人	三百六十七人 三百六十七人 三百六十七人	三百六十七人 三百六十七人 三百六十七人
三日	七日	二日	六日	十九日	二十二日	二十日	二十日	二十二日
百九十三人弱	二百四人弱	二百五人弱	二百二十二人強	二百二十七人強	二百十人弱	二百二十人弱	二百二十八人弱	二百二十九人弱
五割九分強	六割三分弱	六割二分弱	六割七分強	六割三分弱	五割八分強	六割強	六割二分弱	六割二分強
三十五年十二月 十日 二百十八人	三十六年六月 二十日 二百十七人	三十六年十二月 十一日 二百十三人	三十七年三月 二十八日 二百四十五人	三十八年二月 二十五日 二百五十七人	三十九年三月 二十七日 二百七十一人	四十年三月二 十一日 二百五十七人	四十一年三月 二十五日 二百五十五人	四十二年三月 二十日 二百六十七人
勅語奉答ノ 件 外四 件	鐵道敷設 法中 改正法律 案外 十六 件	勅語奉答ノ 件 外四 件	非常特別 稅法 案外 二十 件	外國裁判 所ノ 助託ニ 因ル共 三 件	國債ニ關 スル 法律案 外六十 六 件	樺太ニ施 行ス ル法令 ニ關 スル法 律案 外 二十七 件	官吏恩給 法中 改正法律 案外 三十九 件	輸出菓子 糖菓 原料砂 糖稅 法案外 十三 件
三十五年十二月 二十八日 百七十一人	三十六年五月 十二日 百七十三人	三十六年十二月 十日 百九十六人	三十七年三月 二十一日 百六十九人	三十八年一月 二十六日 百九十四人	三十九年三月 二十五日 百六十五人	四十年一月二 十六日 百八十九人	四十一年一月 三十一日 二百一人	四十二年三月 二十日 二百一人
刑政改正案 外八 件	開院式	開院式	勅語奉答ノ 件 外七 件	豫算追加 案外 四 件	官國幣社 經費 ニ關 スル法 律 案外 十八 件	貨幣法中 改正 法律案 外五 件	國有林野 法中 改正 法律案 外五 件	輸入原料 砂糖 稅法中 改正 法律案 外四 件

第二十六回	第二十七回	第二十八回	第二十九回	第三十回	第三十一回	第三十二回	第三十三回	第三十四回
三百六十八人 乃至三百七十一人	三百六十人 乃至三百六十五人	三百七十六人 乃至三百八十人	三百七十九人	三百七十八人 乃至三百八十人	三百六十八人 乃至三百七十五人	三百七十八人	三百七十六人 乃至三百七十七人	三百七十六人 乃至三百七十七人
二十日	二十二日	十六日	二日	十三日	十九日	二日	四日	四日
二百二十人強	二百二十人強	二百四十四人強	二百七十八人	二百三十五人弱	二百三十八人弱	二百四十人	二百四十二人弱	二百六十三人弱
五割九分強	六割一分弱	六割五分弱	七割三分強	六割二分強	六割四分弱	六割三分強	六割四分強	七割弱
四十四年三月四日 二百四十一人	四十四年三月十三日 二百三十八人	四十五年三月七日 二百七十一人	大正元年八月二十四日 三百三十人	二年三月二十日 二百五十七人	三年三月十三日 二百八十六人	三年五月六日 二百八十二人	三年六月二十七日 二百六十六人	三年十二月八日 二百六十三人
宅地地價修正法案外五十件	總豫算案外九件	總豫算案外二十五件	豫算追加案外七件	總豫算案外六十三件	總豫算案外十五件	豫算追加案外三件	豫算追加案外四件	豫算追加案外九件
四十四年三月十日 二百二人	四十四年二月三日 百九十六人	四十四年十二月二十八日 二百二十一人	大正元年八月二十三日 二百五十三人	二年三月八日 百九十二人	三年二月二十日 二百十三人	三年五月五日 百九十八人	三年六月二十日 百八十九人	三年十二月七日 二百九人
關稅定率法改正法案外十件	豫算追加案外二件	勅語奉答ノ件外三件	開院勅語奉答ノ件外一件	遺失物法中改正法律案外十件	營業稅法中改正法律案外十件	開院勅語奉答ノ件外四件	開院勅語奉答ノ件外四件	開院式

第三十五回	第三十六回	第三十七回	第三十八回	第三十九回	第四十回	第四十一回	第四十二回	第四十三回
三百七十六人 乃至三百七十七人	三百七十四人	三百七十一人 乃至三百七十四人	三百七十八人 乃至三百七十九人	三百七十七人 乃至三百七十九人	三百七十六人 乃至三百八十人	三百九十六人 乃至四百一人	三百九十一人 乃至三百九十四人	三百九十七人 乃至三百九十八人
七日	十二日	十九日	三日	十日	十九日	二十六日	十九日	十八日
二百三十七人	二百四十七人弱	二百二十五人強	二百二十五人	二百四十七人	二百三十一人弱	二百三十五人強	二百三十人弱	二百五十一人弱
六割三分弱	六割六分強	六割強	六割弱	六割五分強	六割一分強	五割九分弱	五割九分弱	六割三分強
三年十二月八日 二百六十三人	四年六月八日 二百六十六人	四年十二月七日 二百五十七人	六年一月二十三日 二百五十五人	六年六月二十日 二百六十八人	七年三月二十日 二百六十八人	八年三月二十日 二百八十九人	九年一月二十日 二百五十七人	九年七月二十日 二百八十九人
勅語奉答ノ件外四件	帝國鐵道會計法中改正法律案外七十七件	電氣事業法中改正法律案外五件	阿片法中改正法律案外六件	阿片法中改正法律案外十一件	軍需工業勅令法案外二十五件	衆議院議員選舉法中改正法律案外八件	上奏案外一件	豫算追加案外十四件
三年十二月七日 二百九人	四年五月二十日 二百二人	五年一月十五日 百九十八人	五年十二月二十七日 二百六人	六年六月二十三日 百九十七人	七年一月二十日 百九十三人	八年二月三日 百八十七人	八年十二月二日 百八十六人	九年七月一日 百四十八人
開院式	開院式	豫算追加案外二十八件	開院式	開院式	開院式	大正六年勅令第二十二號外二件	豫算追加案外二件	開院式

第七十三回 諸表(議員出席比例一覽表)

第四十四回	第四十五回	第四十六回	第四十七回	第四十八回	第四十九回	第五十回	第五十一回	第五十二回
三百九十一人 乃至 三百九十三人	三百八十七人 乃至 三百九十七人	四百人 乃至 四百四人	三百九十二人 乃至 三百九十四人	三百九十八人 乃至 三百九十八人	三百九十五人 乃至 三百九十八人	三百八十九人 乃至 三百九十二人	四百人 乃至 四百八人	三百九十九人 乃至 四百六人
二十七日	三十日	三十日	十一日	十一日	十一日	三十四日	三十二日	二十七日
二百四十九人 強	二百三十七人 弱	二百五十一人 弱	二百六十三人 弱	二百二十六人 弱	二百四十八人 強	二百四十三人 強	二百七十八人 弱	二百四十三人 強
六割四分弱	六割一分弱	六割二分強	六割七分弱	五割八分弱	六割二分強	六割二分強	六割七分弱	六割一分強
十年三月十一日 二百八十六人	十一年三月二日 二百九十七人	十二年三月廿一日 二百八十一人	十二年十二月二十日 二百八十七人	十三年一月二日 二百七十三人	十三年七月一日 三百四人	十四年三月二十四日 二百八十九人	十五年一月二日 三百十人	昭和二年一月十八日 二百八十三人
風教ニ關スル決議案	豫算追加案外百六十四件	總豫算案外三十五件	豫算追加案外十一件	賀表案及賀賤案外五件	決議案外二件	總豫算案外二十六件	請假ノ許可外一件並國務大臣ノ演說	請假ノ許可外一件並國務大臣ノ演說
九年十二月二十七日 百三十九人	十一年二月八日 百八十七人	十一年十二月二十七日 百三十四人	十二年十二月二十一日 二百二人	十二年十二月十七日 百七十一人	十三年六月二十八日 百三十五人	十三年十二月二十六日 百五十九人	十四年十二月二十六日 二百十二人	昭和二年二月一日 二百八人
開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式

第七十三回 諸表(議員出席比例一覽表)

第五十三回	第五十四回	第五十五回	第五十六回	第五十七回	第五十八回	第五十九回	第六十回	第六十一回
四百六十八人 乃至 四百九十八人	三百九十七人 乃至 三百九十八人	四百人 乃至 四百五人	三百九十六人 乃至 四百二人	三百九十七人 乃至 三百九十八人	三百九十八人 乃至 三百九十八人	三百九十八人 乃至 三百九十八人	四百人 乃至 四百一人	四百二人 乃至 四百三人
三日	三日	九日	三十五日	三日	十五日	四十二日	三日	四日
二百四十八人 弱	二百四十九人 強	二百六十四人 強	二百七十六人 強	二百五十七人 強	二百六十二人 強	二百六十一人 強	二百五十九人 弱	二百六十五人 強
六割一分弱	六割三分弱	六割五分強	六割九分強	六割五分弱	六割六分弱	六割五分強	六割五分弱	六割六分弱
二年五月八日 三百四人	三年一月二十一日 三百人	三年四月二十三日 三百三十人	四年二月二十三日 三百二十四人	五年一月二十一日 三百七人	五年五月十三日 三百八人	六年三月二十三日 三百十八人	七年一月二十三日 三百二十六人	七年三月二十三日 三百七人
昭和二年勅令第九十六號(承諾ヲ求ムル件)外十件	請假ノ許可外一件並國務大臣ノ演說	豫算委員會開會ノ議決外六件	內閣總理大臣ノ措置ニ關スル決議案	國務大臣ノ演說	豫算追加案外三十八件	豫算追加案外二十二件	國務大臣ノ演說	國務大臣ノ演說並豫算追加案外十三件
二年五月四日 百七十人	二年十二月二十六日 百七十六人	三年四月二十三日 百六十三人	三年十二月二十一日 百六十一人	四年十二月二十一日 二百十四人	五年四月二十三日 百六十八人	五年十二月二十二日 二百九人	六年十二月二十二日 二百十人	七年三月二十三日 百七十人
開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式

第七十三回 諸表 (議員出席比例一覽表)

第六十二回	第六十三回	第六十四回	第六十五回	第六十六回	第六十七回	第六十八回	第六十九回
三百九十九人 乃至 四百一人	四百一人 乃至 四百二人	四百五人 乃至 四百五人	四百一人 乃至 四百五人	四百十一人 乃至 四百十二人	四百九人 乃至 四百十二人	四百十人 乃至 四百十一人	四百五人 乃至 四百七人
十日	十一日	三十二日	三十三日	十日	二十四日	三日	十七日
二百七十四人	二百六十八人	二百六十四人	二百六十四人	二百七十一人	二百六十三人	二百六十八人	二百七十七人
六割九分弱	六割七分弱	六割六分弱	六割六分弱	六割六分弱	六割四分強	六割三分強	六割八分強
七年六月十四日	七年八月二十三日	八年三月二十三日	九年一月二十三日	九年十一月三十日	十年三月二十三日	十一年一月二十三日	十一年五月六日
柳河軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法案外三十件	國務大臣ノ演說外三十八件	辯護士法改正法案外四十件	國務大臣ノ演說	滿洲國皇帝陛下御來訪ニ付歡迎ニ關スル議決外二十八件	國務大臣ノ演說外二件	國務大臣ノ演說	國務大臣ノ演說及報告外一件
七百八十三人	七百八十八人	七百八十八人	七百八十八人	七百八十八人	七百八十八人	七百八十八人	七百八十八人
開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式

第七十回	第七十一回	第七十二回	第七十三回
四百五人 乃至 四百十三人	四百十二人	四百十二人	四百九人 乃至 四百十五人
二十九日	十二日	五日	三十三日
二百七十六人	二百九十八人	三百三人	二百七十二人
六割七分強	七割	七割四分弱	六割六分強
十二年一月二十三日	十二年七月二十七日	十二年九月五日	十三年三月二十四日
國務大臣ノ演說	國務大臣ノ演說	國務大臣ノ演說外五件	國家總動員法案外六十二件
二百三十七人	二百四十二人	二百五十五人	二百二十七人
全院委員長選舉外四件	開院式	開院式勅語奉答ノ件外三件	裁判所設立ニ關スル法律案外十二件

備 議員總數ハ會期中ニ於ケル議員最多數及最少數ノ和ヲ平均シタルモノニ依ル 議員總數中ニハ議長及副議長ヲ算入シ
議員出席中ニハ之ヲ算入セス
考 第一回議會開院式日及開會日數中三日間ノ出席議員數不明ナルヲ以テ四十五日間ノ平均數ヲ掲ク

第七十三回 諸表 (議員出席比例一覽表)

第七十三回 諸表(傍聽人員表)

議 會 開 會 日 數	第 一 回	第 二 回	第 三 回	第 四 回	第 五 回	第 六 回	第 七 回	第 八 回	第 九 回	第 十 回	內 國 人		外 國 人		開 會 中 一 日 平 均 傍 聽 人 員 數
											男	女	男	女	
四七	八、五八一	五、三六九	一〇、七〇六	一〇、六四九	二、二二〇	二、二〇二	七四七	五、一四八	六、五〇三	四、九二三	八、五三四	三〇	九	八	一八三、弱
二二	五、三六九	一〇、六二三	一〇、五一一	二、一八九	二、一八八	二、一〇三	七三六	五、〇七四	六、四一〇	四、八五四	五、三〇二	四七	四	九	二五六、弱
二六	一〇、七〇六	一〇、六四九	二、二二〇	二、二一〇	二、二〇二	二、一〇三	七三六	五、一四八	六、五〇三	四、九二三	六、五	六五	九	八	四一二、弱
四一	一〇、六四九	二、二二〇	二、二一〇	二、一八九	二、一八八	二、一〇三	七三六	五、一四八	六、五〇三	四、九二三	一〇、五一一	一一九	八	四	二六〇、弱
一〇	二、二二〇	二、二一〇	二、一八九	二、一八八	二、一〇三	二、一〇三	七三六	五、一四八	六、五〇三	四、九二三	二、二二〇	二二	一	一	二二一、弱
一六	二、二〇二	二、一〇三	二、一〇三	二、一〇三	二、一〇三	二、一〇三	七三六	五、一四八	六、五〇三	四、九二三	二、一〇三	九一	四	四	一三八、弱
三	七四七	五、一四八	五、〇七四	五、〇七四	五、〇七四	五、〇七四	七三六	五、一四八	六、五〇三	四、九二三	二、一〇三	一一	一	一	三七四、弱
四一	五、一四八	五、〇七四	五、〇七四	五、〇七四	五、〇七四	五、〇七四	七三六	五、一四八	六、五〇三	四、九二三	六、三	六三	七	四	一二六、弱
四一	五、一四八	五、〇七四	五、〇七四	五、〇七四	五、〇七四	五、〇七四	七三六	五、一四八	六、五〇三	四、九二三	六、三	六三	七	四	一二六、弱
三三	五、四九七	五、四〇九	五、四〇九	五、四〇九	五、四〇九	五、四〇九	七三六	五、一四八	六、五〇三	四、九二三	六、九	六九	八	八	一七二、弱
四四	七、七〇六	七、五八六	七、五八六	七、五八六	七、五八六	七、五八六	七三六	五、一四八	六、五〇三	四、九二三	一一〇	一一〇	九	一	一七五、強
一六	四、三六二	四、二六二	四、二六二	四、二六二	四、二六二	四、二六二	七三六	五、一四八	六、五〇三	四、九二三	八一	八一	一四	五	二七三、弱
二	一一〇一	一一〇一	一一〇一	一一〇一	一一〇一	一一〇一	七三六	五、一四八	六、五〇三	四、九二三	一	一	一	一	二〇一、強

第七十三回 諸表(傍聽人員表)

第 十 一 回	第 十 二 回	第 十 三 回	第 十 四 回	第 十 五 回	第 十 六 回	第 十 七 回	第 十 八 回	第 十 九 回	第 二 十 回	第 二 十 一 回	第 二 十 二 回	第 二 十 三 回
二	一六	四四	三三	一八	二五	二	六	一	五	一八	二一	一九
一一〇一	四、三六二	七、七〇六	五、四九七	五、一五二	五、三九〇	一七四	一、五〇八	六三	一、一〇五	二、六〇六	三、七八九	三、三三六
一一〇一	四、二六二	七、五八六	五、四〇九	五、〇四二	五、二七九	一七四	一、三九八	六二	一、〇六七	二、四九九	三、六九四	三、一六七
一	八一	一一〇	六九	九五	九八	一	七四	一	二三	一〇二	七七	一〇七
一	一四	九	一一	八	一三	一	三五	一	一三	五	一六	四八
一	五	一	八	七	四	一	一	一	二	一	二	一四
二〇一、強	二七三、弱	一七五、強	一七二、弱	二八六、強	二一六、弱	一八七、	二五一、強	六三、	二二一、	一四五、弱	一八〇、強	一七六、強

第七十三回 諸表(傍聽人員表)

第二十四回	一九	三、三二四	三、一〇三	九三	一一三	五	一七四、強
第二十五回	二二	三、八七六	三、七六八	九七	五四	一一	一八五、弱
第二十六回	一九	三、二二九	三、一四七	七五	四	三	一七〇、弱
第二十七回	二一	二、九一九	二、七九〇	九七	二三	九	一三九
第二十八回	一五	三、三四三	三、二一九	一〇七	一四	三	二二三、弱
第二十九回	二	二、六四	二、五八	六	一	一	二六四
第三十回	一二	二、二八〇	二、二五〇	二七	三	一	一九〇、
第三十一回	一八	五、二九六	五、二一五	五〇	一九	一三	二九四、強
第三十二回	二	二、二二一	二、二一〇	一	一	一	一一一、弱
第三十三回	三	六、二六	六〇九	一一	五	一	二〇九、弱
第三十四回	三	四、三五	四三一	四	一	一	一四五、
第三十五回	六	六、八六	六六九	一〇	五	二	一一四、強
第三十六回	一一	三、二四二	三、一七五	五六	七	四	二九五、弱

第七十三回 諸表(傍聽人員表)

第三十七回	一八	四、一二七	四、〇四八	七二	四	三	二三〇、弱
第三十八回	二	四九七	四八九	七	一	一	二四九、弱
第三十九回	九	一、七九九	一、七六七	二八	四	一	二〇〇、弱
第四十回	一八	三、六三一	三、五二一	一〇一	六	三	二〇二、弱
第四十一回	二五	六、〇〇七	五、八九九	九六	一二	一	二四〇、強
第四十二回	一八	三、四四五	三、三三二	九六	一七	一	一九一、強
第四十三回	一七	三、八九八	三、八二五	五九	一二	二	二二九、強
第四十四回	二六	一、六九八	一〇、九六四	六七四	一八	四二	四五〇、弱
第四十五回	三一	九、六一七	八、七二〇	八六四	二六	七	三一〇、強
第四十六回	二九	一、一五三	九、七九四	一、三三九	一三	七	三八五、弱
第四十七回	九	一、五七七	一、四一一	一五三	一三	一	一七五、強
第四十八回	三六	一、三三六	一、二七〇	六二	四	一	二二三、弱
第四十九回	一〇	三、一五五	二、四八四	六五九	一〇	二	三一六、弱

第五十回	三三	一六、四〇三	一三、八九九	二、五二六	一五	四九七、強
第五十一回	三一	一五、〇九六	一一、九四八	三、一三四	一三	四八七、弱
第五十二回	二七	一二、一一六	一〇、一五一	一、九五五	七	四四九、弱
第五十三回	二	八八六	八五九	二七	一	四四三、
第五十四回	二	七五八	六〇九	一四六	二	三七九、
第五十五回	八	四、六二三	四、三七六	二四一	三	五七八、弱
第五十六回	三四	一二三、二八五	一九、八一二	三、四四一	二三	六八五、弱
第五十七回	二	一、〇四五	九三二	一〇八	二	五二三、弱
第五十八回	一四	一〇、七〇一	九、九二七	七六〇	一一	七六四、強
第五十九回	四一	二五、三二六	一九、二五一	五、九八九	五五	六一八、弱
第六十回	二	九四四	八二一	一一一	二	四七二、
第六十一回	三	一、五九二	一、三九二	二〇〇	一	五三一、弱
第六十二回	九	三、五二三	二、五四一	九六八	一二	三九一、強

第六十三回	一〇	二、七五〇	二、四八三	二五七	七	二七五、
第六十四回	三一	一一、四六八	六、五三九	四、九一三	一一	三三〇、弱
第六十五回	三三	一五、五〇〇	九、三四九	六、一二五	二五	四七〇、弱
第六十六回	九	一、八三四	一、五三一	三〇一	一	三二二、四、弱
第六十七回	二三	一一、九五六	七、一二二	四、七八九	三六	二八二、五二〇、弱
第六十八回	二	四六七	三三五	一二六	五	一八二、三三四、弱
第六十九回	一六	七、八二八	五、七七九	二、〇三七	九	五八五、四八九、強
第七十回	二八	一七、八九六	一〇、五三七	七、三三七	二二	一五二、六三九、強
第七十一回	一一	三、五〇六	二、九一三	五六五	二〇	一三三、三一九、弱
第七十二回	五	一、八二二	一、四八八	三三一	三	三六四、強
第七十三回	三三	一九、五三二	九、七六五	九、七二六	三七	六六〇、強

備考

開會日數ニハ開院式日ヲ算入セス但シ開院式當日議事ヲ開キタル場合ハ之ヲ算入ス

自第一回議會印刷物比較表
至第七十三回議會

會期	件數	部數	枚數
第一回	七一	三四、九五〇	六六四、一五〇
第二回	五五	二七、三一〇	三六七、五四〇
第三回	七六	五七、四二五	一、二七九、三七五
第四回	一四四	五四、五三〇	一、二五二、四三〇
第五回	五三	一六、九二〇	五八五、六五〇
第六回	九三	五八、七四〇	七八二、八二〇
第七回	一九	八、八二〇	二八一、一六〇
第八回	一七五	一一六、三二五	一、三三三、六三五
第九回	三三二	一九五、二二五	二、〇三一、九六五
第十回	二二五	一六二、七一〇	二、〇四五、一六〇
第十一回	二四	一一、一四〇	一、〇一四、八四〇

第十二回	一六二	九六、六四〇	一、二三三、九九〇
第十三回	五八六	三七六、五七八	二、八二四、三八三
第十四回	三八五	三〇二、五九〇	二、八七五、八一五
第十五回	一九二	二二五、四一二	一、九九五、九一二
第十六回	二七一	一九〇、一五七	二、三八二、一四六
第十七回	三六	二七、二二七	一、二五〇、八四七
第十八回	六八	五五、九八四	二、三五、九七四
第十九回	一一	八、六二五	九、六二五
第二十回	七五	五四、九二一	一七七、四二一
第二十一回	二九七	九五六、一八一	一、三二一、四八五
第二十二回	二〇七	二四六、一九九	二、二七八、七五四
第二十三回	二〇六	二四五、三二三	一、三〇〇、三七七
第二十四回	二五八	三二八、七九七	二、五七五、六〇八

第二十五回	一一〇	三二七、〇八七	一、三六五、四九二
第二十六回	三二四	三三五、六九〇	一、三三二、六九〇
第二十七回	四二四	三七一、三七〇	二、六九九、七五〇
第二十八回	三二七	二三五、四九〇	二、五九〇、〇三〇
第二十九回	一八	一一、三八〇	三七、一二〇
第三十回	二二三	一六五、七七〇	二、一三五、〇六〇
第三十一回	四二五	一八六、四八〇	二、五五三、〇八〇
第三十二回	二二	二二、八九〇	一、四二、〇九〇
第三十三回	二三五	一一、六七〇	二、三五〇、七七〇
第三十四回	四〇	二七、四七〇	一、八二、二三〇
第三十五回	九九	六五、一八二	二、八一、九九三
第三十六回	二七五	一五八、五三〇	二、九二五、六六〇
第三十七回	四九三	四〇二、〇七二	三、七八五、四七九

第三十八回	五八	二九、〇六三	一、〇四三、二七九
第三十九回	二四〇	一八四、五六〇	一、二〇八、八一五
第四十回	五一四	四三八、二四七	二、八一七、〇七六
第四十一回	二四七	七一八、九一〇	四、四五六、三六〇
第四十二回	二三一	一九一、三四〇	二、七八一、九三〇
第四十三回	三五三	三二五、八三〇	一、四一二、二七〇
第四十四回	七八一	六八四、〇八〇	四、七一〇、五三〇
第四十五回	五六四	四三〇、四五〇	四、七九五、四一〇
第四十六回	四三六	三八六、四五〇	五、〇三六、八二〇
第四十七回	一四六	八八、二六〇	二二〇、四五〇
第四十八回	六八	三五、四四〇	一、九四三、九六〇
第四十九回	二四七	一三六、三六〇	一、二七八、八六〇
第五十回	四六八	三〇一、二一〇	四、〇七九、七五〇

第五十一回	六一四	七〇一、七九二	七、三九八、四八八
第五十二回	三五五	五八八、五四二	四、六七七、五八八
第五十三回	二七	二五、九五〇	九二六、三二〇
第五十四回	二五一	三八、七九〇	一、二四七、七五〇
第五十五回	四九〇	三八七、五七〇	二、二六二、七二〇
第五十六回	四四八	七四〇、四九〇	五、七〇六、二八〇
第五十七回	二二七	六一三、六四〇	四六一七、四七〇
第五十八回	二一二	三七三、五六〇	六、三四七、九四〇
第五十九回	二五一	三七八、五四〇	五、六六四、七四〇
第六十回	二三四	一三〇、八〇五	一、八一七、三一五
第六十一回	五四七	四五七、二三〇	二、五七七、六八〇
第六十二回	二〇一	一三九、五〇〇	一七〇四、二一〇
第六十三回	八八	一三〇、三〇〇	六〇〇、九四〇

第六十四回	三五八	七五二、七五〇	六、四七六、三七〇
第六十五回	三四七	三六六、二九〇	五、六四七、六八〇
第六十六回	五四	五四、七三〇	二六九、二〇〇
第六十七回	二九八	三〇九、九二〇	三、八六二、四五〇
第六十八回	四八	四〇、八四〇	二、三八八、四一五
第六十九回	二〇二	二〇六、三六五	二、〇六九、一五〇
第七十回	三八七	四〇四、八九〇	七、五八四、二一五
第七十一回	一八八	一六九、八九〇	一、九八九、五一〇
第七十二回	五七	六一、四一〇	二九二、八三〇
第七十三回	二八四	四八五、三五〇	八、八四四、九三〇

考備 本表計數中ニハ輕便印刷器ニ依リ印刷シタル印刷物ハ之ヲ除ク

第五十一回	六一回	七〇回	七九回	八八回
第五十二回	七〇回	七九回	八八回	九七回
第五十三回	七九回	八八回	九七回	一〇六回
第五十四回	八八回	九七回	一〇六回	一一五回
第五十五回	九七回	一〇六回	一一五回	一二四回
第五十六回	一〇六回	一一五回	一二四回	一三三回
第五十七回	一一五回	一二四回	一三三回	一四二回
第五十八回	一二四回	一三三回	一四二回	一五一回
第五十九回	一三三回	一四二回	一五一回	一六〇回
第六十回	一四二回	一五一回	一六〇回	一六九回
第六十一回	一五一回	一六〇回	一六九回	一七八回
第六十二回	一六〇回	一六九回	一七八回	一八七回
第六十三回	一六九回	一七八回	一八七回	一九六回
第六十四回	一七八回	一八七回	一九六回	二〇五回

昭和十三年十二月一日印刷
 昭和十三年十二月三日發行

印刷者 貴族院事務局
 內閣印刷局

第...頁

印圖卷 內閣印圖

貴州刻事錄

圖印十三卷十二日發行

印印十三卷十二日發行



1

14.3
504



14.3
504

